

# 第2回 4月 センター試験本番レベル模試

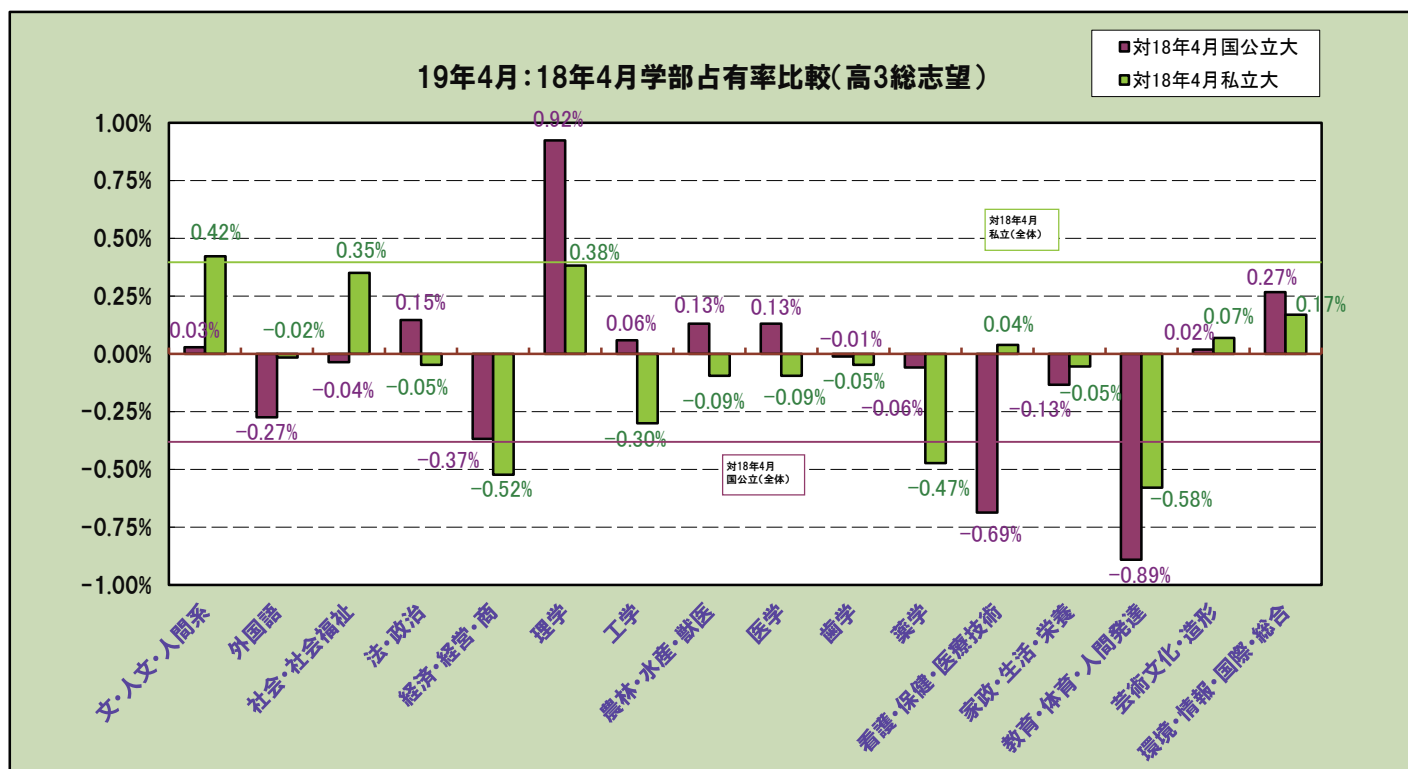
## 将来の目標達成に向けて、 計画的に学習を進めよう！

4月28日（日）に実施した「第2回 4月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

昨年のこの時期を、先輩たちはどのような分野を大学で学びたいと考え、大学選びをしていたのだろうか。

自分は何を目指したいのか、何を学びたいのか…志望校を選択するにあたって、現時点での動向を把握して、参考にしてほしい。

### 【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



### 【学部系統別指数(設置区分別)】\*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	100	103	103
外国語	83	99	94
社会・社会福祉	98	106	105
法・政治	103	101	101
経済・経営・商	97	97	97
理学	112	109	111
工学	104	105	104
農林・水産・獣医	101	88	96
医学	102	96	100
歯学	98	85	93
薬学	98	89	93
看護・保健・医療技術	91	101	95
家政・生活・栄養	87	96	93
教育・体育・人間発達	89	89	89
芸術文化・造形	103	105	105
環境・情報・国際・総合	105	102	103

#### ■国公立大

2019年度入試で見られた文高理低傾向の収束感が、今回の模試でも見られる。

特に人気の回復傾向が見られるのは理学系で、工学系も志望者が増えている。

一方、難関上位大では教育学系統で回復傾向が見られた教育・体育・人間発達系は再び減少に転じている。

#### ■私立大

概ね国公立大と同様の傾向ではあるが、理系では農林・水産・獣医系と医学系については、私立大では不人気傾向が継続している。

文系では経済・経営・商学系の人気さが下がりつつあるのとは逆に、法・政治系は人気の回復傾向が見られる。

この時期はこの春の入試動向にも影響されやすい時期でもあるので、今後の動きを注視したい。

※このデータは、2019年と2018年の「第2回 4月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分(国公立・私立)ごとに学部系統別の総志望者数(統一実施日受験の高3生・第6志望まで)から算出した割合を比較したものである。